

科目名	日常生活を支援する技術 I	対象学年・時期	1年・前期
講師	専任教員	単位数・時間数	1単位・30時間
授業概要	<p>ディプロマポリシー3に基づく。看護は具体的な看護実践活動を通して果たされるものであり、看護の目標を達成するために看護技術があることを理解する必要がある。日常生活を支援する技術では、看護の対象となる個人が、最適な健康を踏まえた日常生活が営めるようにするために、援助の必要性を考え対象に合った方法を具体的に考える必要がある。看護の実践ができるようになるために、暮らしの中の動作がどのようなからだの仕組みによってなされているのかを知り、科学的根拠を考えながら援助の必要性を理解し、方法を考えられるようにする。また、援助を受ける対象を観察し、対象の気持ちを考えながら援助を行う必要がある。</p> <p>ここでは日常生活の中で、対象が身を置く「環境」、動作の基本となる「体位・運動」、それとともに生きるために必要不可欠な「睡眠・休息」において、対象や場に応じた援助を根拠に基づき実践できる知識、技術、態度を学ぶ。</p>		
授業形態	講義・学内実習		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 解剖生理学的な人間の身体的機能に基づいた援助の根拠が理解できる、 2. 対象における援助の必要性が理解できる。 3. 対象を観察しながら援助を行うことができる。 4. 安全・安楽・自立を基本とした援助が実施できる。 5. 演習での患者体験看護師体験を通して、看護師として必要な態度を身につけることができる。 		
	授業内容		事前学修・事後学修
授業計画	<p>1回目 ガイダンス、活動とは、ボディメカニクス</p> <p>2回目 体位変換</p> <p>3回目 体位変換 学内実習</p> <p>4回目 ポジショニング</p> <p>5回目 車椅子移乗・移送 ※技術チェックあり</p> <p>6回目 車椅子移乗・移送 学内実習</p> <p>7回目 歩行介助演習（杖・歩行器）</p> <p>8回目 ストレッチャー移乗・移送 学内実習</p> <p>9回目 環境とは</p> <p>10回目 環境整備</p> <p>11回目 ベッドメイキング学内実習（下シートまで）</p> <p>12回目 ベッドメイキング学内実習（スプレッドまで）</p> <p>13回目 リネン交換 学内実習</p> <p>14回目 睡眠・休息の援助</p> <p>15回目 終講試験</p>		<p>事後学修：身体の部位の名称</p> <p>事後学修：体位変換の練習</p> <p>事後学修：車椅子移乗・移送練習</p> <p>事後学修：車椅子移乗・移送練習</p> <p>事前学修：杖歩行、階段昇降練習</p> <p>事後学修：ストレッチャー移乗・移送練習</p> <p>事後学修：ベッドメイキング練習</p> <p>事後学修：ベッドメイキング練習</p> <p>事前学修：リネン交換練習</p>
使用テキスト	系統看護学講座 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ，医学書院		
事前・事後学修	<p>内容については、「学習内容」を参考にしてください。</p> <p>学内実習前には、事前にテキストの該当部分や動画を見て練習をしてから授業に臨んでください。</p> <p>学内実習後には、行った技術の練習を行ってください。</p>		
評価基準・評価方法	筆記試験で評価		
備考			